

海洋理工学会

Advanced Marine Science and Technology Society (AMSTEC)

平成18年度春季大会

5/18(木)
シンポジウム

5/19(金)
一般講演・総会

日本科学未来館
みらいCANホール・会議室1

東京都江東区青海2-41 新交通ゆりかもめ「船の科学館」または「テレコムセンター」下車5分

一般講演申込・要旨締切 4月18日(火)必着

シンポジウム

海底土砂採取の海洋生態系への影響とその修復 —水底に残る負の遺産の解消をめざして—

5月18日(木)

9:45 開会挨拶
趣旨説明

小崎文雄(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
中田喜三郎(東海大学)

10:00-12:20 第I部 海底土砂採取の現状と生態系への影響

東京湾における浚渫窪地の現状と問題点

中村由行(独)港湾空港技術研究所

三河湾における苦潮によるアサリ大量死と浚渫窪地内部の貧酸素化の状況

武田和也・石田基雄(愛知県水産試験場)

瀬戸内海における海砂採取の現状と漁業資源への影響

反田 實(兵庫県立農林水産技術センター)

浚渫が水環境に及ぼす影響

山室真澄(独)産業技術総合研究所

13:20-15:10 第II部 三河湾における浚渫窪地の修復

浚渫窪地修復の考え方と修復事例

石田基雄・鈴木輝明(愛知県水産試験場)

浚渫窪地修復効果の定量的評価手法開発その1—底生生物群集の変化予測

豊原哲彦・今尾和正(株)日本海洋生物研究所

浚渫窪地修復効果の定量的評価手法開発その2—窪地における微細な物理環境解析

大見智亮・寺澤知彦・市川哲也(株)中電シーティーアイ) 中田喜三郎(東海大学)

15:30-17:00 第III部 パネルディスカッション・総合討論

司会: 中村由行、パネラー: 国交省中部地方整備局三河湾港事務所所長、船越茂雄(愛知県水産試験場) 他

主催: 海洋理工学会

共催: (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (JRTT)

東京湾船橋沖青潮航空写真(千葉県提供)

- 参加費: 一般3,000円, 一般学生1,500円, 正会員2,000円, 学生会員1,000円(要旨集を含みます)
- イブニングセッション(5/18(木)) 会費 5,000円
- 当日入会受付もいたします(年会費: 正会員6,500円, 学生会員 2,000円)



【お問い合わせ先】

〒424-8610 静岡県清水区折戸3-20-1

東海大学海洋学部地球環境工学科内 海洋理工学会事務局(千賀)

電話: 0543-37-0917 FAX: 0543-34-9983 URL: <http://amstec.jp>